

* 2018年度 諸外国写真上映会 *

西方見聞録 「世界はこんなふうだった」

第4回 中央アジア 編

主催：大鹿村中央構造線博物館

大鹿村在住の伊東一郎さんが2000年から2002年にかけて滞在した中央アジア・キルギスをはじめ、2015年に撮影したウズベキスタン及びタジキスタンの写真をスライド上映。中央アジアの豊かな自然と極めて独特なシルクロードの文化遺跡、そこに住む多様な人々の暮らしぶりなど、多数の写真をご自身の簡単な解説付きで紹介上映します。



第1話(1月5日) ウズベキスタンー1。首都タシケントから青の都とも呼ばれるサマルカンド周辺と、それらシルクロード都市を支えたフェルガナ盆地を巡る。

第2話(1月6日) キルギス共和国。典型的な騎馬民族の国。天山山脈の支脈をなす山々と広大な草原に囲まれた、放牧家畜たちの天国。

第3話(1月9日) ウズベキスタンー2。マルコ・ポーロの「東方見聞録」冒頭に輝くような都市と描かれるエキゾチックな世界文化遺産ブハラ。

第4話(1月10日) タジキスタン。世界の屋根といわれるパミール高原を走る舗装道路はパミール・ハイウェイと呼ばれ、サイクリストたちの聖地。その隣にはアフガニスタン・ヒンドゥークシの急峻な山々が連なる。

第5話(1月11日) ウズベキスタンー3。やはり世界文化遺産とされているヒヴァの古代城塞都市イチャン・カラを中心にアラル海に至る周辺砂漠地帯。

* 上映時間 14:00 ~ 概ね 16:00

* 於 大鹿村中央構造線博物館、無料